

地図としゃしんを見て、村ぜんたいの土地のようすと、おおよそのつかわれ方を、
 白地図にまとめてみましょう。

○ ひくくたいらなところ

玉川村の西がわの地いきで、地図に^{たつき}竜崎、^{がんぼうじ}岩法寺、^{なか}中、^{おだか}小高、^{ひりゅう}蒜生、^{かわべ}川辺と書いてあるところです。平地の西がわには、^{あぶくま}阿武隈川という大きな川が南から北へ流れています。この平地は、阿武隈川の近くの土地がひくく、東へいくにしたがって高くなっています。川の東がわは、おもに田がひらかれています。

また、じゅうたくが多く、駅や店、役場、ゆうびん局、農きょうなどもあります。

○ 少し高いところ

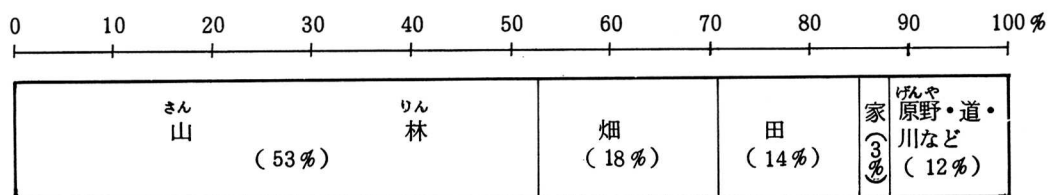
玉川村全体のまん中にある地いきで、地図では、須釜小学校、須釜中学校を中心として、北須釜、南須釜、吉と書いてあるところです。田は川ぞいに見られますが、ここでは、特にくわ畑を中心とした畑が多く見られます。

県道ぞいには家があつまっていて、ところどころにぶらくができています。学校の近くには、店があつまっていて、そこは、ぶらくの中でもいちばん人のいききがさかんになっています。

○ 高いところ

少し高いところの東がわの地いきで、地図では、四辻新田、山小屋、東野、青井沢、千五沢あたりのところです。道路ぞいや山すそに田畑が見られますが、阿武隈高地につながるひくい山なみがつづいています。ここには、500 m以上の山が見られ、ほぼ山林でおおわれています。

(村ぜんたいの土地のようす)



(昭和60年度 村役場しらべ)